

牌の名前など、用語を覚えよう

『麻雀の雀龍.com』より転載しました

麻雀には、いろんな用語がありますが、まずは実践でよく使う用語だけ覚えましょう。
 では早速、麻雀での数字の数え方を見てみましょう。

【麻雀での1～9の数え方】

声に出して覚える①

イー・リャン・サン・スー
 ウー・ロー・チー・パー・キュウ

中国語のようですが微妙に違います。

麻雀用語として、1 (イー) ・ 2 (リャン) ・ 3 (サン) ・ 4 (スー) ・ 5 (ウー) ・ 6 (ロー) ・ 7 (チー) ・ 8 (パー) ・ 9 (キュウ) は、必ず覚えましょう。

面倒ですけど、5回、声に出して読んでみてください。声に出すと簡単に覚えられますよ！

牌は、34種類 × 4枚 の計136枚

麻雀牌の種類は、全部で34種類で、「数」を表す27種類と、「字」を表す7種類があります。まずは、簡単な「数」を表す牌から見てみましょう。

【数を表す牌の3種類】

声に出して覚える②

ワンズ・ピンズ・ソーズ

これも、5回音読してみましょう。さきほどの、「麻雀での1～9の数え方」が分かればワンズ・ピンズ・ソーズという言葉覚えて、組み合わせるだけです。

ちなみに、ワンズは、マンズとも言うので、言いやすいほうで覚えてください。

◆ ワンズ



イー リャン サン スー ウー ロー チー パー キュウ
 ワン ワン ワン ワン ワン ワン ワン ワン ワン

または、(マン) (マン) (マン) (マン) (マン) (マン) (マン) (マン) (マン)

◆ ピンズ



イー リャン サン スー ウー ロー チー パー キュウ
 ピン ピン ピン ピン ピン ピン ピン ピン ピン

◆ ソーズ



イー リャン サン スー ウー ロー チー パー キュウ
 ソー ソー ソー ソー ソー ソー ソー ソー ソー

これらを総称して数牌（かずはい）とも言います。ちなみに、**ワンズは、マンズともいいます**。27種類と、数は多いですが、読み方は単純ですよ。牌の絵で言うと、ソーズの1（イーソー）と8（パーソー）が個性的なので注意という感じでしょうか。

一方、「字」を表す7種類を、**字牌（じはい）**と言います。この言葉はよく使うので、覚えておきましょう。**字牌には、風牌と、三元牌**があります。

◆ 風牌（かぜはい）



◆ 三元牌（さんげんぱい）



【字牌の読み方】

声に出して覚える③

トン・ナン・シャ-・ペ-
ハク・ハツ・チュン

読み方が独特ですけど、これも声に出して5回読んでみましょう。

東（トン）・南（ナン）・西（シャ-）・北（ペ-）・
白（ハク）・發（ハツ）・中（チュン）という順番も大事ですよ！

さて、麻雀の牌の説明は以上です。

これら34種類が4枚ずつ、計136枚で構成されているんですね。

風には、**自風と場風**がある。

さて、東（トン）・南（ナン）・西（シャ-）・北（ペ-）という「風牌」を覚えてもらった所で、**自風（じかぜ）と場風（ばかぜ）**についてお伝えしたいと思います。



麻雀では必ず4人に「東家・南家・西家・北家」というものが割り当てられています。そして、「**親は必ず東家（トンチャ）**」になります。そして東家（親）の右の人が「南家（ナンチャ）」、正面が「西家（シャ-チャ）」、親の左の人が「北家（ペイチャ）」になります。

左の画像に、**起家マーク**（ちいちゃマーク）というのがありますよね。これは、**一番最初の東一局で親だった人の目印**となるマークです。

Aさんに注目して考えてみましょう。起家だったので、東1局は東家。子があがって親が移動して（**親が流れて**）、東2局ではAさんは北家に。

※ 人気ゲーム Maru-Janの画像を拝借しています。 Copyright (C) SignsTalk. All Rights Reserved.

そして、下記の画像の東3局だと、Aさんは西家になってますね。こういうふうに、**親が順番に移動するので、自風もそれに伴って、東→北→西→南の動きで変わる**わけですね。

【東南戦では、親番が一人2回まわる】

		自風は東	自風は南	自風は西	自風は北
		東家	南家	西家	北家
場風は 東	東1局	A	B	C	D
	東2局	B	C	D	A
	東3局	C	D	A	B
	東4局	D	A	B	C
場風は 南	南1局	A	B	C	D
	南2局	B	C	D	A
	南3局	C	D	A	B
	南4局	D	A	B	C

そして、「東家・南家・西家・北家」ごとに、**自風牌と場風牌**というものが決まっています。まず、自風牌とは…

【自風牌とは】

東家なら **東** 南家なら **南** 西家なら **西** 北家なら **北**

になります。そのままなので、分かりやすいですね。さらに、**自風牌とは、全く別ものの場風牌とは、東場（トンバ）なら東、南場（ナンバ）なら南**となります。

【場風牌とは】

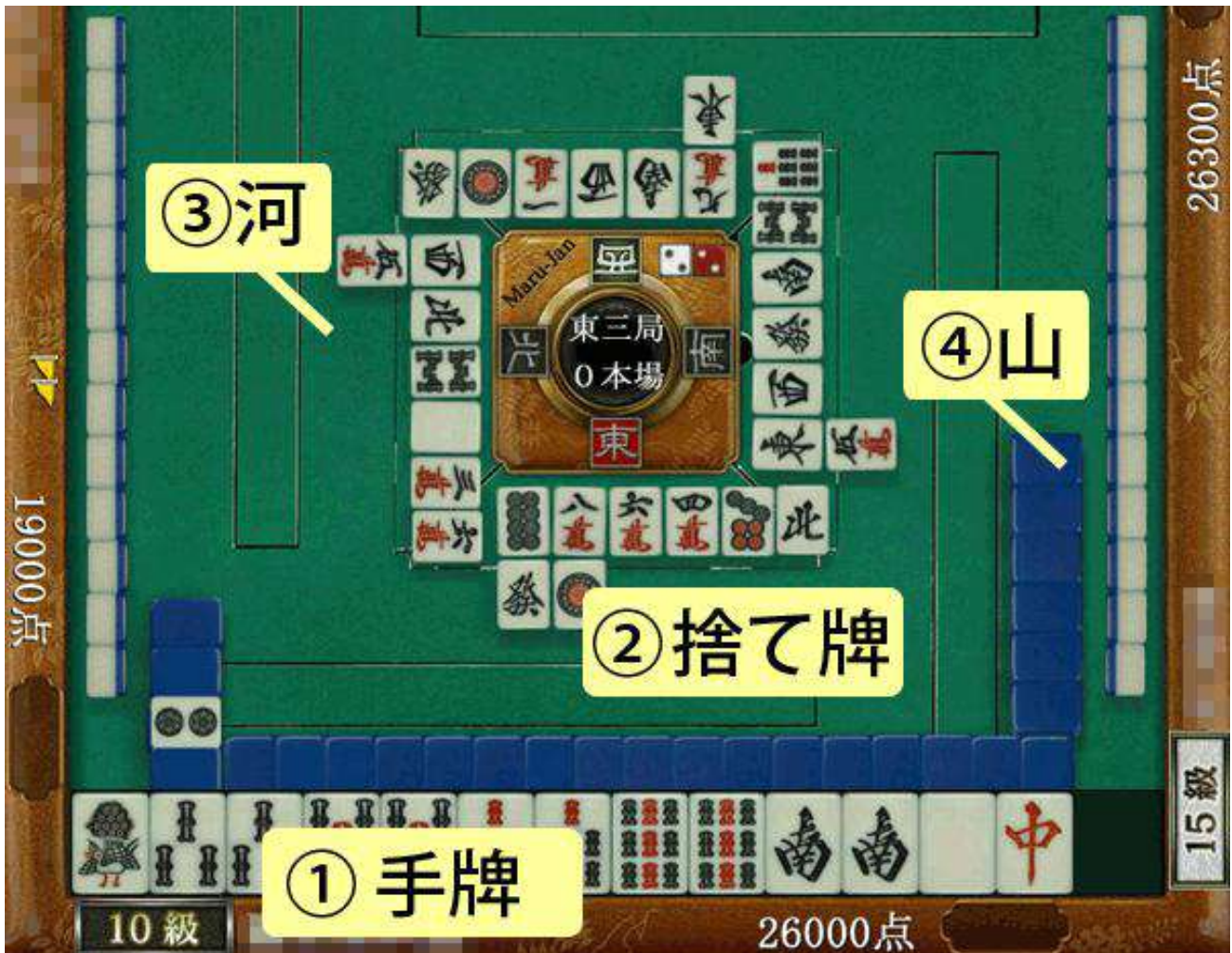
東場なら **東** 南場なら **南** ※ 場風は4人とも共通

場風牌については、最初の東場では、東。南場になる事を**南入（なんにゅう）**と言いますが、南入後は、南になります。**場風牌は4人に共通**という点だけ覚えてください。

ちょっといろいろ出てきて混乱したと思いますが、この辺は、暗記するというよりも「**やりながら自然に覚える**」ものなので、焦らなくて大丈夫です。自風牌と場風牌が分かると今後説明する「役（やく）」で活用できるようになりますよ。

よく使う用語だけ覚えておこう。

最後に、**これだけは知っておきたい**、実践でよく使う用語をお伝えします。



※ 人気ゲーム Maru-Janの画像を拝借しています。 Copyright (C) SignalTalk All Rights Reserved.

画像の通り、①**手牌**（てはい）とは、手にある牌のことです（使用例、「自分の手牌は、まずまずだ」「相手の手牌は、どうなっているのだろう」）。また、自分が捨てた牌の事を、②**捨て牌**（すてはい）と呼び、捨て牌がある所を、③**河**（かわ）いいます（使用例、「捨て牌は、河に6枚ずつ並べよう」「河に捨て牌が並ぶ」）。

麻雀牌は、伏せられて並べられ、④のように積み上がっていますが、これを、④**山**（やま）と呼びます（使用例、「残りの山は、あとわずかか…。」「山に積み上げられている牌」）正式には牌山と言いますが、山で使われます。

そして、これは重要ですが、**山から牌を取ってくることを「ツモる」**と言います（使用例、「麻雀は1つ牌をツモって、1つ牌を捨てるゲームだ」「（なかなか欲しい牌が引けずに）ツモが悪いなあ」）。

今後のステップで必要に応じて解説していくので、用語に関しては、まずはこれぐらいを覚えておけば充分です。